

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】

優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	2	事業所と地域とのつきあい	開かれたホームを目指すため同じ地域に住み、入居者・職員が地域の方々に気軽な挨拶、会話などで、その中から助け合えるつきあいを目標とする。	<ul style="list-style-type: none"> ・例年通り夏祭りに参加、地域の人達との交流を図る。 ・玉ねぎの植え付け、芋掘りの参加の継続。 ・地域とホームの蕎麦体験交流、平成27年から始まり今年で3年目、区・寿会・子供会と毎年参加が増えている。公民館、町内に蕎麦交流のポスターのポスティング、声かけ、来年に向け継続の目標を立て、地域とのつきあいを広める。 	12ヶ月
2	4	運営推進会議を活かした取り組み	2ヶ月1回の会議、ホームの活動及び行事等の報告。地域の方々に「高齢者であり、認知症があるけれど人なんだ」として理解をして頂き小さな出来事から報告をし、納得理解を目標とする。	<ul style="list-style-type: none"> ・推進会議には、殆どの入居者様が参加できるように努め、顔なじみの関係の大切さ、どのような一日を送っているのかを知ってもらい、地域との協力体制の構築。 ・地域の方々に今回北部災害で自分達が遭遇した場合を想定し地域の協力がいかに重要かを説明して理解と協力を求める。 	12ヶ月
3	28	チームでつくる介護計画とモニタリング	職員の気づきや家族からの意見などを取り入れ、本人にとって無理のない楽しく充実した生活が送れるようなプラン作りを目標とする。	<ul style="list-style-type: none"> ・スタッフ会議や申し送り、日常の会話の中で、職員の気づきや意見を出し合い、プランに取り入れ職員全体で共有しサービスを提供していく。 ・面会や家族会などで、意見を言いやすいように日頃から面会に来られた時は笑顔で挨拶し、言いやすい雰囲気作りをし、「なにか要望はないですか」と言えるような関係性を作る。 	12ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。